

令和2年度 中学校教育研究会

英語科学習指導案

助言者 信州大学教授 酒井 英樹 先生
日 時 令和2年12月18日(金)
授業学級 2年A組(41名)
授業会場 3階学習室
単元名 「Rediscover Our Hometowns」
授業者 野口 育美

1	本質に迫る生徒の姿	1
2	テーマ	1
3	テーマ設定の理由	1
4	単元名・学年	1
5	単元の目標	1
6	単元の評価規準	2
7	「まとまりのある英語を聞いて、概要を捉える力」 を高めるための手だて	2
8	教材化	2
9	単元展開	5

信州大学教育学部附属長野中学校 英語科
研究者 野口 育美 佐藤 大樹 都筑 彩花
James Ashworth Zain Hill 柳澤 征之

1 本質に迫る生徒の姿

簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る生徒

2 テーマ

まとまりのある英語を聞いて、概要を捉える力を高める指導の在り方

3 テーマ設定の理由

「Our Talk on the News」(令和2年6月・2年)では、小笠原新聞をまとめるために、小笠原諸島の自然に関する情報を聞いて、概要を捉える学習を構想した。そこでは、小笠原諸島に豊かな自然が広がっている理由を聞き、聞き取った情報について、グループでやり取りした考えや感想を全体で共有する活動を位置付けた。その中で、R生は、U生の“I think Ogasawara is an interesting place because it has a lot of plants and animals. They came by waves, wind and wings.”という感想を聞いた。その後、もう一度映像を視聴したR生は、授業を振り返り、「1回目に聞いた時は、by waves and windは聞き取れたが、by wingsは聞き取ることができていなかった。U生の感想を聞いた後に映像を視聴した時には、by wingsの部分も聞き取ることができ、小笠原諸島に固有種が増えた様々な理由が分かった。」と記述した。本校英語科では、このようなR生の姿を、まとまりのある英語を聞いて、概要を捉えることができた姿であると考え。このことから、グループでやり取りした考えや感想を全体で共有する活動を位置付けることは、まとまりのある英語を聞いて、概要を捉える力を高めることに有効であることが見えてきた。

一方で、映像を視聴した際にメモを取ったK生は、授業を振り返り、「友とやり取りをした部分については話の内容が分かったけれど、自分が書いたメモ(protect nature)とどのようなつながりがあるのか全体の流れが分からないところもあった。」と記述した。このようなK生の姿から、聞き取った情報を可視化して友と見比べる活動を位置付けることで、まとまりのある英語を聞いて、概要を捉える力をさらに高めることができるのではないかと考えた。

そこで「Rediscover Our Hometowns」において、様々な人物の地元紹介を聞いて、概要を捉える学習を構想する。そこでは、自分にとっての地元とはどのようなものかを紹介するために、聞き取った情報を「My Listening Note」(図2)を使って整理する活動を位置付ける。そして、自分の考えを見返すために、ALTの地元紹介を聞いて、概要を捉える学習において、聞き取った情報について、グループでやり取りした考えや感想を全体で共有する活動を位置付ける。このような学習によって、まとまりのある英語を聞いて、概要を捉える力を高めることで、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る生徒の姿の具現に迫ることができるのではないかと考え、本テーマを設定した。

4 単元名・学年 「Rediscover Our Hometowns」・2年

5 単元の目標 ※【 】内は、学習指導要領との関連を指している

自分にとっての地元とはどのようなものかを紹介するために、様々な人物の地元紹介を聞いて、概要を捉えることができる。【(1)イ】

※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 中学校 外国語』によると、英語の目標は、資質・能力の三つの柱を総合的に育成する観点から、一文の能力記述文で示すことが基本となっているため、本校他教科の学習指導案の単元の目標とは異なる表記をしている。

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	【知】 受け身の特徴やきまりを理解している。 【技】 受け身の特徴やきまりの理解を基に、様々な人物の地元紹介を聞き取る技能を身に付けている。 【(1)イ】	【思】 自分にとっての地元とはどのようなものかを紹介するために、様々な人物の地元紹介の概要を捉えている。 【(1)イ】	【態】 自分にとっての地元とはどのようなものかを紹介するために、様々な人物の地元紹介の概要を捉えようとしている。

※新学習指導要領の全面実施を見据え、本指導案では三観点にて示しているが、実際に記録に残す評価については、現行の四観点で行う。

7 「まとまりのある英語を聞いて、概要を捉える力」を高めるための手だて

- ・自分にとっての地元とはどのようなものかを紹介するために、様々な人物の地元紹介を聞いて、概要を捉える学習において、聞き取った情報を「My Listening Note」を使って整理する活動を位置付ける。(単元)
- ・自分の考えを見返すために、ALTの地元紹介を聞いて、概要を捉える学習において、聞き取った情報について、グループでやり取りした考えや感想を全体で共有する活動を位置付ける。(本時)

8 教材化

(1)「まとまりのある英語を聞いて、概要を捉える力」を高めるための3年間の構想

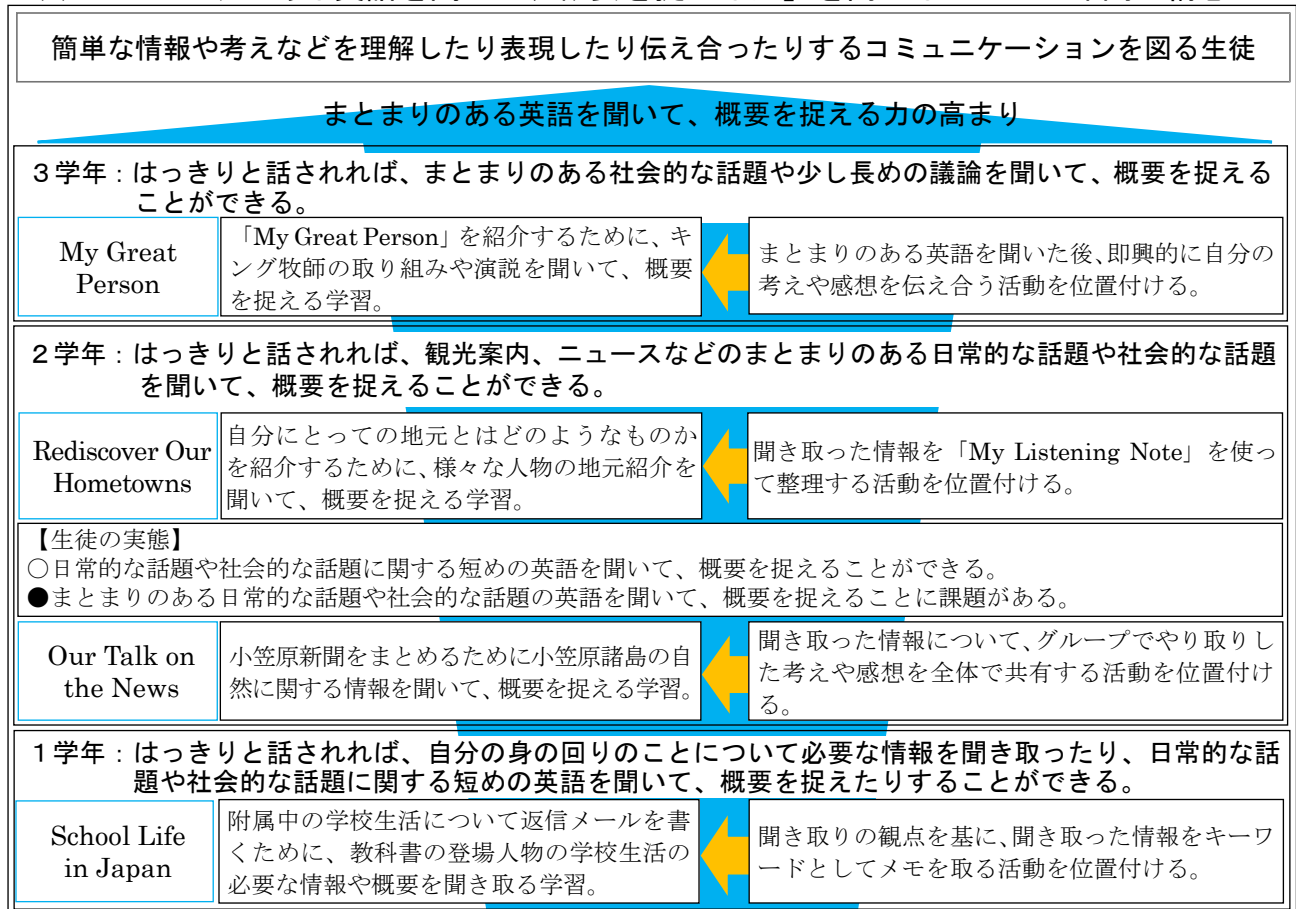


図1「まとまりのある英語を聞いて、概要を捉える力」を高めるための3年間の構想

※上記の図は、以下のような構成となっている。

学年：【テーマを具現するために至りたい各学年の段階】		
【単元名】	【学習】	【手だて】

(2) 単元に寄せた教材化

① 自分にとっての地元とはどのようなものかを紹介する場面を設定した意図

本単元において、自分にとっての地元とはどのようなものかを紹介する場面を設定した意図は、生徒が必要感をもって様々な人物の地元紹介を聞いて、概要を捉えていくことができると考えたからである。

前単元「地元長野を英語でプレゼン」において、生徒はALTであるイギリス出身のJamesと南アフリカ出身のZainに、長野の名所や伝統的な生活文化などを紹介する学習を行った。

本単元の冒頭、生徒は、Zainの地元とはどのようなものかを紹介しているプレゼンを聞き、自分たちのプレゼンとは異なる紹介をしていることに気付く。教師は、Zainのプレゼンについて生徒とやり取りしながら、Lesson Questionを“What are hometowns for us?”と設定する。自分にとっての地元とはどのようなものかという問いは、抽象的であり、答えが一つではないため、生徒は、自分の考えをもちにくかったり、どのように自分の考えを英語で表現したらよいのか戸惑ったりすることが予想される。そのため、生徒は、様々な人物が地元をどのようなものと捉えているのか、また、どのように英語で表現しているのかを知りたいという願いをもって、地元紹介を聞いていくと考える。

このように、自分にとっての地元とはどのようなものかを紹介する場面を設定することで、生徒は、様々な考えや英語での表現を聞くことを繰り返し、まとまりのある英語を聞いて、概要を捉える力を高めていくことができるのではないかと考えた。

② 自分にとっての地元とはどのようなものかを紹介するために、様々な人物の地元紹介を聞いて、概要を捉える学習において、聞き取った情報を「My Listening Note」を使って整理する活動を位置付ける

第1時、教師は、前単元の生徒のプレゼンを聞いたZainが南アフリカのことも知ってほしいと願っていることを伝える。生徒は、Zainの地元紹介を聞き、Zainにとっての地元が“Back of my hands”とはどういうことなのかと疑問に思い、聞き取った情報を友と確認したいと願うだろう。そこで、教師は、Zainの話の内容を友と確認した後、もう一度Zainの地元紹介を聞く場を設ける。生徒は、Zainが自分の地元を“Back of my hands”と表現した理由を聞き、自分にとっての地元とはどのようなものかを考え始めるだろう。このような生徒の反応から教師は、Lesson Questionを“What are hometowns for us?”と設定する。

第2～5時、教師は、ラージ(教科書の登場人物)にとっての地元とはどのようなものかを考えるために、ラージの地元紹介を聞く場を設ける。

第2時、教師は、メモを基に友と聞き取った情報を確認することの有効性に触れた前時の振り返りを取り上げ、「My Listening Note」(図2)を紹介する。生徒は、インドの街や学校を紹介する映像を視聴する際、メモを取りながら聞かろう(図2①)。そして、聞き取ることができなかった情報を確認したいという願いから、教師は、友と確認する場を設ける。生徒は、聞き取った情報を、英語または日本語で説明し合うだろう。教師は、確認した情報を図や表などを用いて「My Listening Note」にまとめるように促す(図2

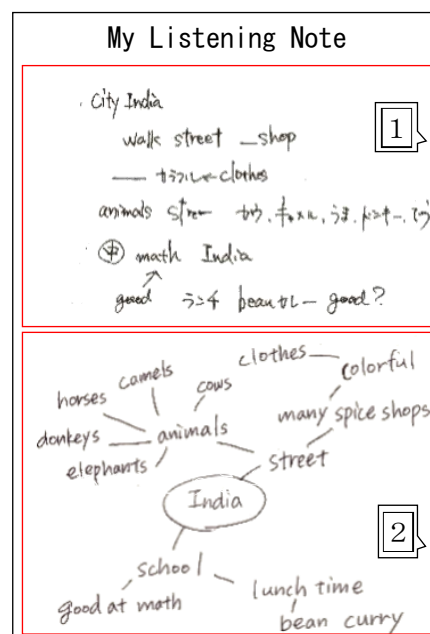


図2 「My Listening Note」の例

2) 。そして、まとめた情報が異なる「My Listening Note」を取り上げ、全体に紹介することで、理解が不十分だった情報が明確になり、生徒は、もう一度映像を視聴して確認したいと願うだろう。再度、映像を視聴した生徒は、1回目の視聴では聞き取れなかった情報を、2回目の視聴で聞き取ることができたと感じるだろう。このように第2～5時、聞き取った情報の概要を捉える学習において、生徒は、聞き取った情報を、「My Listening Note」を使って整理していくことで、ラージの地元紹介を聞いて、概要を捉えていくだろう。

第6時、生徒は、ラージの地元紹介の概要を基に、ラージにとっての地元とはどのようなものかについて、友と考えや感想をやり取りするだろう。生徒は、多言語国家であるインドについて書かれた教科書本文を基に、「言語」を視点に生活や文化と関わらせた多様な考えをもつだろう。このようにラージにとっての地元とはどのようなものかを考えていくことで、自分にとっての地元とはどのようなものかを捉え直していくだろう。

(3) 本時に寄せた教材化

自分の考えを見返すために、ALTの地元紹介を聞いて、概要を捉える学習において、聞き取ったことについて、グループでやり取りした考えや感想を全体で共有する活動を位置付ける

教師は、自分にとっての地元とはどのようなものかを紹介するために、James先生の地元紹介も聞いてみたい、という生徒の願いから、本時、Today's Goalを“Let's listen to James' idea for his hometown.”と設定する。生徒は、Jamesがスポーツ、多文化、イノベーションについて紹介していることや、マンチェスターを“My Pride”と紹介していることを聞き、「My Listening Note」を使って聞き取った情報をまとめていくだろう。教師はまとめた情報が異なる「My Listening Note」を紹介することで、生徒は聞き取ることができなかった情報を確認し、話の概要を捉えていくだろう。その後、教師は、グループでやり取りした考えや感想を全体で共有する場を設ける。例えば、生徒が、“I think people in the UK are proud of their culture, so I was surprised.”などと述べたことについて、教師は“Why do you think so? Why were you surprised?”とその根拠を問い返す。すると生徒は“Because James said, there are many Indian or Japanese restaurants. I didn't know that there are Japanese restaurants in the UK.”などと、Jamesが話したことを引用しながら、自分の考えを述べるだろう。さらに教師は“Do you have other surprising points?”と全体に尋ねる。すると、別の生徒も“James told about the first voting right for women in Manchester. Also, the first computer was made in Manchester. Manchester is the latest place. I was surprised”などと、Jamesが話したことを引用しながら自分の考えを述べるだろう。教師はこのように生徒の発言を板書してまとめていく。これらの情報の中には、1回目には聞き取ることができなかった情報も含まれるため、教師は、再度Jamesの地元紹介を聞く場を設ける。その中で、1回目の地元紹介で概要を捉えきることができなかった生徒は、2回目の地元紹介を聞いて概要を捉えていくことができるだろう。

以上のように、自分にとっての地元とはどのようなものかを紹介するために、様々な人物の地元紹介を聞いて、概要を捉える学習において、聞き取った情報を「My Listening Note」を使って整理する活動を位置付けたり、自分の考えを見返すために、ALTの地元紹介を聞いて、概要を捉える学習において、聞き取ったことについて、グループでやり取りした考えや感想を全体で共有する活動を位置付けたりすることで、生徒は「まとまりのある英語を聞いて、概要を捉える力」を高めることができると考える。

9 単元展開 様々な人物の地元紹介を聞いて、概要を捉える学習 全9時間 本時は第8時

段階	◆学習		評価の観点	時間
	教師の指導・支援	予想される生徒の反応		
導入	◆Zainの地元紹介を聞いて概要を捉える。 ・Zainのプレゼンテーションを聞く場を設ける。 ・イのような生徒の発言を受け、グループで情報を確認した後、もう一度、聞く場を設ける。 ・Lesson Question “What are hometowns for us?”を設定し、自分の考えを書くように促す。		ア 前の単元では私たちが地元紹介をしたが、Zain先生の地元については知らなかったので、プレゼンテーションを聞いて、美しい景色や南アフリカの歴史などを初めて知ることができた。 イ Zain先生は地元紹介だけではなくて、家族のことなどを合わせて紹介したり、地元のことを“Back of my hands”と例えたりしていたが、どういうことかよく分からないところもあった。 ウ 友と確認することで、1回目より、2回目の方が情報を聞き取ることができた。“Back of my hands”とは手の甲のことで、「毎日見ているからよく知っているということ」を地元と重ねていた。 エ 地元紹介をしたときは、自分にとっての地元とはどのようなものかを考えなかったのが興味深い、何と言ったらよいか難しそうだ。他の人が、地元をどのように紹介するか聞いて考えたい。	1
	展	◆ラージ(教科書の登場人物)にとっての地元とはどのようなものかを考えるために、ラージの地元紹介を聞いて概要を捉える。 ・以下の①～④を聞き、聞き取った情報を「My Listening Note」を使って整理する場を設ける。 ①インドの街や学校の紹介 ②道路標識、紙幣、新聞に関する情報 ・受け身の特徴やきまりを確認する。 ③インドの文化に関するラージと久美の会話やインド映画に関する情報 ④ラージと三つの言語との関係に関するスピーチ		オ インドの街と中学校の様子だった。“The clothes are colorful.”など華やかな色であふれていた。中学校の数学と給食の様子についても聞き取れた。聞き取った情報を確認した後、友が図や表などにまとめたものを基に聞くと2回目がよく聞き取れた。 カ インドには多くの言語があることが分かった。新聞も様々な言語のものがある。紹介するとき“They are all said～”と受け身を使うことで客観的な見方を表現することができそう。友と確認したことを表にまとめることで、2回目はより聞き取れた。 キ インドとハリウッドとの映画の制作数を比較していた。制作数や特徴を比較するためにベン図で整理した。ハリウッドで作られる映画が多いと思っていたが、インドの方が多いことに驚いた。 ク ラージは三つの言語を使い分けていた。家ではマラーティー語、学校ではヒンディー語、様々な人との会話では英語を使っていた。友はマッピングで聞いたことをまとめていて、分かりやすかった。1回目を聞いただけで聞き取ることができるようになってきた。
・ラージの地元紹介を聞いて捉えた概要を基に、ラージにとっての地元とはどのようなものか、考えをやり取りする場を設ける。 ・自分にとっての地元とはどのようなものか、考えを書く場を設ける。		ケ インドは街の中に様々な色彩があふれ、様々な種類の動物と多くの人々が共存し、多言語国家だ。ラージも生活の中で言語を使い分けていた。次から次へと移り変わる様子から、友はラージにとってのインドとは“Kaleidoscope”と表現していた。私はラージが誇りをもって紹介する姿から“Proud”のような気がする。 コ 地元のことは好きだけど、ラージのように誇りとまでは思っていない。しかし、ずっと暮らしてきて、思い出がいっぱいある。自分にとって地元とは“Album”だと思う。友や先生は地元をどのように考えているのだろうか。		
	◆自分の考えを見返すために、教師とJamesの地元紹介を聞いて概要を捉える。 ・教師の地元紹介を聞き、聞き取った情報を「My Listening Note」を使って整理した後、友と互いの考えや感想をやり取りする場を設ける。		サ 野口先生は、箕輪町を“Charger for me”と言っていた。よく知っている場所だから、地元に戻るとリラックスできる。思い出があるから、先生にとって戻りたい場所なのではないだろうか。友と確認しなくても少しずつ聞き取れるようになってきた。 James先生の地元紹介も聞いて、さらに考えを深めたい。	8分
	・地元とはどのようなものかを全体でやり取りする中で、Today's		シ 自分にとっての地元とは“Album”だ。友は、生き方を教えてくれるから“Map”だと考えている。考えが違ってもよし	

開	<p>Goal “Let’s listen to James’ idea for his hometown.”を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> James の出身地について知っていることを共有した後、James の地元紹介を聞き、聞き取った情報を「My Listening Note」を使ってまとめる場を設ける。 まとめた内容が異なる「My Listening Note」を取り上げ、全体で紹介すると共に、なぜそのようにまとめたのかを尋ねる。 聞き取った情報を「My Listening Note」を使って整理したことを基に、グループで考えや感想をやり取りする場を設ける。 考えや感想を全体で共有する場を設ける。 ツのような反応から、もう一度 James の地元紹介を聞く場を設ける。 本時の学習を振り返る場を設け、トのような振り返りを全体で共有する。 	<p>ろい。James 先生は私たちとは違う思いをもっているようだ。サッカーのことなどを話すのだと思うが、James 先生は、どのように地元を捉えて地元紹介をしてくれるのだろうか。</p> <p>ス James 先生はイギリスのマンチェスター出身だ。マンチェスターユナイテッドという強豪サッカーチームがある。その他の情報については、よく分からないことが多い。</p> <p>セ James 先生はマンチェスターを“My Pride”と言っていた。そして誇れるものとして、スポーツ、多文化、イノベーションを挙げていた。</p> <p>ソ 友はマッピングでまとめていた。三世代でマンチェスターユナイテッドのファンであること、家族とスタジアムによく試合を見に行ったことを話していた。だから“family stadium”と言っていたのか。友のまとめを聞いて、つながりが分かった。</p> <p>【予想されるやり取り】</p> <p>A: I don’t think Nagano is my pride like James. I like Nagano, but James loves Manchester. He is a fan of Manchester United and his family loves it too. His family calls the stadium family stadium. I felt his strong feeling.</p> <p>B: I felt a strong feeling too. He said about the first computer. I didn’t know the first computer came from the UK. I was surprised.</p> <p>C: My image of the UK is historical. But people like to make new things, for example, the first computer.</p> <p>タ Dさんは、歴史を大切にしているイメージをもっていたそう。しかし、James 先生が日本食やインド料理のレストランがあると聞いていたことを聞き、意外だったと言っていた。インド料理のレストランがあるとは聞き取れなかった。</p> <p>チ Eさんは、マンチェスターは、初めて女性の選挙権を認めたことがすごいと思い、James 先生が“Pride”と言うのが分かると言っていた。</p> <p>ツ 友の発言を聞いていると、自分には、まだ聞き取れていない情報がある。もう一度聞いてみたい。</p> <p>テ 友が話していたことから“family stadium”の意味や“There are many Indian restaurants.”が聞き取れた。また、女性への選挙権を認めたことについても新たに聞き取ることができた。</p> <p>ト マンチェスターという場所で育ち、その街の一人であるからこそ“My Pride”と誇れることは、素敵なことだと思った。また、友と聞き取った情報を確認したり、考えや感想を共有したりして、James 先生の地元紹介を聞き取ることができた。</p>	15分 5分 10分 4分 8分	2 (本時は第2時 大枠部分)
終末	<p>◆Lesson Question “What are hometowns for us?” についての考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分にとっての地元とはどのようなものか、考えをやり取りした後、自分の考えを書く場を設ける。 単元の学習を振り返る場を設ける。 	<p>ナ 自分にとっての地元とは、“Important album in my heart” だと思う。ずっと長野市で育ってきて、家族と城山公園へ行ったことや友だちと買い物をした思い出などがある。だから、“Album” だと思う。この思い出は心の中にずっと保存しておきたい。</p> <p>ニ 聞き取った情報を「My Listening Note」を使って整理することで聞き取ることができるようになってきた。ラージや先生方の地元紹介を聞いたり、友の考えを聞いたりして、改めて自分の地元を振り返ることができた。そして、地元は居心地がよい場所だと改めて感じ、そこで生活している自分は幸せだと感じた。</p>	知 技 思 態	1
後日	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステストとペーパーテストを行う。 	<p>「私の街」を紹介しているまとまりのある英語を聞いて、考えや感想をやり取りしたり、自分の考えを書いたりする。</p>	知 技 思 態	

